一般社団法人
日本非破壊検査協会
The Japanese Society for Non-Destructive Inspection

非破壊試験技術講習会開催案内 （2017年12月～2018年1月）

ー JIS Z 2305:2013 に基づいた訓練 ー

主催 一般社団法人 日本非破壊検査協会
The Japanese Society for Non-Destructive Inspection
http://www.jsndi.jp/

当協会では、2015 年秋期から JIS Z 2305:2013「非破壊試験ー技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施致します。JIS Z 2305:2013 では受験申請資格として各NDT方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録（レベル1、2、3は必須）が必要となります。本講習会は JIS Z 2305:2013 で必要とされる訓練時間の**全部又は一部**を満足する設定になっております。この要求される「訓練時間」に対して、今回実施される講習会の訓練時間の対比については、本開催案内の（P.2）の**本訓練コースと JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される「訓練時間」の対比**を確認して下さい。

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行し、講習会最終日に手渡し又は郵送致します。

また、申し込みは以下の URL よりお申し込み下さい。お申込みは、インターネットのみで受付しております。
http://www.jsndi.jp/education/class/

講習会をお申し込みの方は、必要書籍がございますのでご確認下さい。
http://www.jsndi.jp/education/index1.html

JIS Z 2305:2013 認証試験の受験申請資格

1） レベル1・レベル2
各NDT方法について、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要であり、レベル1の資格を有していない方がレベル2の受験申請を行う際には当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要となります。（受験申請時から過去5年以内のもの）。

レベル3
関連訓練コースの履修、関連NDTの学術講演会、セミナーに出席又は発表による貢献、あるいはNDT関連の書籍の執筆、又はそれらによる学習の証明等が必要となります（受験申請時から過去5年以内のもの）。

2） 各 NDT 方法については、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要です。また、レベル3を受験申請する際は、申請しようとする NDT 方法のレベル2資格を保持している必要があります。

本訓練コースと JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される「訓練時間」の対比

各NDT方法の要求される「訓練時間」に対して、今回実施される訓練コースの訓練時間の対比を**表1**に示します。レベル1の資格を所有しないでレベル2を直接受験する場合には、当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要です。

表1　JIS Z 2305:2013 が要求する訓練時間と訓練コースとの対比

NDT方法(略称)	レベル	JIS Z 2305:2013 要求訓練時間	訓練コース	訓練時間	追加が必要な訓練時間
全NDT共通(基礎コース)	3	8	レベル3	16	―
放射線透過試験　(RT)	1	40	レベル1	40	
	2	80注	レベル2	48	32
	3	40	レベル3	32	8(基礎コース) 注2
超音波探傷試験　(UT)	1	40	レベル1	40	―
	2	80注	レベル2	40	40
	3	40	レベル3	32	8(基礎コース) 注2
磁気探傷試験　(MT)	1	16	レベル1	16	
	2	24注	レベル2	24	―
	3	32	レベル3	24	8(基礎コース) 注2
浸透探傷試験　(PT)	1	16	レベル1	16	―
	2	24注	レベル2	24	―
	3	24	レベル3	24	8(基礎コース) 注2
渦電流探傷試験　(ET)	1	40	レベル1	40	―
	2	48注	レベル2	48	―
	3	48	レベル3	40	8(基礎コース) 注2
ひずみゲージ試験 (ST)	1	16	レベル1	16	―
	2	24注	レベル2	24	―
	3	20	レベル3	20	8(基礎コース) 注2
超音波厚さ測定　(UM)	1	20	レベル1	20	―
極間法磁粉探傷検査　(MY)	1	8	レベル1	16	―
	2	16注	レベル2	24	―
通電法磁粉探傷検査　(ME)	1	8	レベル1	16	―
溶剤除去性浸透探傷検査(PD)	1	8	レベル1	16	―
	2	16注	レベル2	24	―

注1：要求訓練時間は、レベル1の要求時間を満たしている場合である。
注2：レベル3の試験を受験する際は、レベル3共通(基礎コース)の訓練の8時間は必須ですので集計表には、各部門のレベル3の時間+レベル3共通(基礎コース)を記入して頂く事になりますのでご注意下さい。また、当協会の基礎コースでは16時間実施しておりますが、訓練時間として要求されているのは、8時間です。

各種講習会開催要領　＊講義内容は都合により変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

レベル3基礎コース　会　員　32,076 円　非会員　35,640 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	日時	時間
全NDT共通レベル3 （講義2日間コース）	KISO	東京	30名	講義　1月14日(日)～15日(月)	9:00～17:45
		大阪	30名	講義　1月16日(火)～17日(水)	9:00～17:45

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
非破壊試験技術者の認証システム	非破壊試験の認証システム	3.00		16 時間
	JIS Z 2305 による認証システム			
材料科学及び製品の製造技術	炭素鋼の平衡状態図	5.00		
	金属の塑性変形			
	熱処理			
	鉄鋼製品の製造技術、製造工程中及び供用中に発生するきず			
	非鉄金属材料			
	溶接と溶接欠陥			
	強度と破壊			
各種の非破壊試験方法	各種非破壊試験方法概論（レベル 2 の知識）	8.00		
	計	16.00	0.00	

当協会のレベル3基礎コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。レベル3の場合は、基礎コースに加えて、専門コースの訓練時間が必須となっております。

RT レベル 1 コース　会　員　77,760 円　非会員　86,400 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
放射線透過試験レベル1 （講義・実習5日間コース）	RT10	東京	32名	講義　1月15日(月)～16日(火) 実習　1月17日(水)～19日(金)	9:00～17:45
		大阪	32名	講義 実習　秋期開催なし(春期6月～7月開催予定)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の用語と歴史の紹介	歴史(目的)	1.00		40時間
	用語(電磁放射線、放射線のエネルギー、線量、線量率)			
物理的原理と関連知識	X 線、ガンマ線の性質	3.50		
	X 線の発生			
	ガンマ線の発生因子			
	物質との相互作用			
	フィルムと増感紙の特性			
	放射線透過試験の撮影配置			
製品知識と試験方法と適用技術	溶接部の不連続部	2.00	2.00	
	鋳造品のきず			
	検出性能に及ぼす影響(きずの種類、寸法、位置)			
装置	X 線装置の構造と操作	2.00	6.50	
	ガンマ線装置の構造と取扱い(遮蔽容器、クラス P/M、A/B 形(輸送)、線源ホルダーと線源カプセル)			
試験の事前情報	手順書	1.00	1.00	
試験	現像処理	3.00	5.50	
	溶接継手の試験			
	露出線図の利用			
	IQI(JIS Z 2306)			
	マーキング方法			
評価と報告	評価基準	2.00	9.00	
	透過写真の評価			
評価		1.00		
品質アスペクト	技術者の資格 (ISO 9712 及び JIS Z 2305 による)	0.50		
	計	16.00	24.00	

当協会の RT レベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴(スニーカータイプ可)は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓、分類用ゲージ(JIS Z3104,3105,G0581)を持参下さい。

RT レベル 2 コース　会　員　88,452 円　非会員　98,280 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
放射線透過試験レベル2 （講義・実習6日間コース）	RT20	東京	32名	講義　1月20日(土)～22日(月) 実習　1月23日(火)～25日(木)	9:00～17:45
		大阪	32名	講義　1月 9日(火)～11日(木) 実習　1月12日(金)～14日(日)	

訓練内容	訓練内容題目 訓練時間(h)	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の用語と歴史の紹介	歴史(目的) 用語(波長、線量、線量率、強度、照射線量率定数)	1.50		48時間
物理的原理と関連知識	X 線、ガンマ線の性質 X 線の発生 ガンマ線の発生因子 物質との相互作用 フィルムと増感紙の特徴 放射線透過試験の撮影配置	9.00		
製品知識と試験方法と適用技術	溶接部の不連続部 鋳造品のきず 検出性能に及ぼす影響 (照射方向、幾何学的ひずみ、透過厚さの増加)	3.00	1.00	
装置	X 線装置の構造と操作	3.00	8.00	
試験の事前情報	試験対象物に関する情報	0.50	0.50	
試験	現像処理 溶接継手の試験(適用範囲) 鋳鋼品の試験(JIS G 0581) 特殊撮影(マイクロフォーカスによる拡大撮影) IQI(JIS Z 2306) 溶接部、鋳鋼品に対する NDT 手順の立案	3.00	6.00	
評価と報告	評価基準 透過写真の評価 試験成績書の確認	2.00	4.50	
評価	きずの像の分類	1.00	4.00	
品質アスペクト	技術者の資格 (ISO9712 及び JIS Z 2305 による)	1.00		
	計	24.00	24.00	

当協会の RT レベル2コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。不足時間は32時間ですので、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

備考:実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴(スニーカータイプ可)は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓、分類用ゲージ(JIS Z3104,3105,G0581)を持参下さい。

注)放射線透過試験レベル2講習会受講希望者へ
放射線透過試験レベル2講習会を受講される方は、放射線透過試験レベル1の資格を所有された方か、放射線透過試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。
やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させて頂きますようお願い致します。
レベル2の講習会受講に際し、最低限必要な項目を以下に示します。
＊レベル2コース受講に必要な項目
①　X線装置の操作(特に制御器)　②写真処理(現像・定着・水洗など)　③X線フィルムの観察における取扱い　④濃度計の使い方

RT レベル 3 コース　会　員 64,152 円　非会員 71,280 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
放射線透過試験レベル3 （講義4日間コース）	RT30	東京	30名	講義　1月26日(金)～29日(月)	9:00～17:45
		大阪	-	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の用語と歴史の紹介	歴史(目的)	1.00		32時間
	用語(JIS Z 2300)			
物理的原理と関連知識	放射線の性質	5.50		
	X 線の発生			
	ガンマ線の発生因子			
	物質との相互作用			
	フィルム撮影法及び デジタル撮影法の特徴			
	放射線透過試験の撮影配置			
製品知識と試験方法と 適用技術	溶接部の不連続部	3.00		
	鋳造品の欠陥			
	検出性能に及ぼす影響 （照射方向、幾何学的ひずみ、透過厚さの増加）			
装置	X 線装置の構造と操作 （開放管方式、X 線フラッシュ方式、ロッドアノード方式、マイクロフォーカス方式、高電圧方式）	3.00		
	ガンマ線装置の構造と取り扱い			
試験の事前情報	試験対象物に関する判定基準	1.00		
試験	現像処理	10.50		
	溶接継手の試験			
	試験及び考察(JIS G 0581)			
	直接撮影法及び透視試験			
	特殊技術			
	像質計(JIS Z 2306)			
	溶接部及び鋳物検査のための NDT 指示書の作成			
評価と報告	評価基準	2.00		
	透過写真の評価			
評価	きずの像の分類	2.00		
品質アスペクト	技術者の資格 (ISO 9712 及び JIS Z 2305 による)	2.00		
開発	革新的な放射線透過試験技術	2.00		
	計	32.00	0.00	

当協会の RT レベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間は基礎コース 8 時間ですので、当協会のレベル 3 基礎コースを受講するか、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

放射線透過試験講習会受講者への注意事項

① テキストの持参
② 分類用ゲージの持参
③ 関数電卓の持参

UTレベル1コース　　会　員　77,760円　　非会員　86,400円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
超音波探傷試験レベル1 （講義･実習5日間コース）	UT10	東京 *(探傷器 R)	64名 （各組32名）	実習　第1組　1月12日(金)～14日(日) 実習　第2組　1月　9日(火)～11日(木) 実習　予備日　1月　6日(土)～　8日(月) 講義　1月15日(月)～16日(火)	9:00～ 17:45
		大阪 *(探傷器 G)	64名 （各組32名）	実習　第1組　12月14日(木)～16日(土) 実習　第2組　12月11日(月)～13日(水) 講義　12月17日(日)～18日(月)	

超音波探傷器 G タイプ、R タイプは、半期ごとに東京と大阪で交互に入れ替わります。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	NDT の目的、用語	1.00		40時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場, きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	3.00	4.00	
	波の種類			
	反射，通過と屈折			
	超音波の発生と送受信			
	超音波ビームの特性			
	きずによる超音波の反射			
製品知識と探傷技術	超音波探傷方法	2.00		
	製造プロセス及び供用中に発生する 様々なきず			
	対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	2.00	7.00	
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	NDT 指示書及び試験記録	1.00	4.00	
	探傷の目的			
	必要条件			
検査	探傷器の調整	3.00	9.00	
	標準試験片と対比試験片			
	直接接触法(垂直及び斜角)			
	水浸法(垂直)			
	測定範囲の調整及び感度の調整			
	きずの検出と測定			
	超音波厚さ測定			
評価及び報告	きずの検出	2.00		
	記録及び評価レベル			
	合格レベル			
	試験報告書			
検査の品質	技術者の資格	2.00		
	計	16.00	24.00	

当協会の UT レベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着･安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

UM レベル 1 コース　会　員　35,040 円　非会員　38,934 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
超音波厚さ測定レベル1 （講義・実習2.5日間コース）	UM10	東京	32名	講義　12月24日(日)～25日(月) 実習　12月26日(火)	注） 13:00～17:00 9:00～17:45
		大阪	32名	講義　12月　8日(金)～　9日(土) 実習　12月10日(日)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
超音波の基礎	超音波に関する基礎	2.00		20時間
	波の種類			
	超音波の発生と送受信			
	超音波ビームの特性			
	超音波エコー			
	接触媒質			
厚さ測定装置	超音波厚さ計の構造	2.00	1.50	
	超音波探触子			
	厚さ測定方法			
	はん用超音波厚さ計			
	その他の厚さ測定器			
	超音波探傷器による測定			
	超音波厚さ計の取扱い			
厚さ測定	測定の準備	4.00	6.50	
	校正の実施			
	測定の実施			
	表示器付き厚さ計による測定			
	厚さ測定の必要性			
厚さ測定の基準・規格	厚さ測定の基準・規格	2.00		
厚さ測定指示書	指示書と報告書	2.00		
	計	12.00	8.00	

当協会の UM レベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

注）
第1日目の講習会開始時間について、13:00 となっておりますので、お間違えの無いようにしてください。
第2日目、第3日目は、通常の 9:00 からの開始です。

20180906

UT レベル 2 コース　会　員　70,956 円　非会員　78,840 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
注） 超音波探傷試験レベル 2 （講義･実習 5 日間コース）	UT20	東京 ＊(探傷器 R)	64名 （各組32名）	講義　1月17日(水)～19日(金) 実習　第1組　1月20日(土)～21日(日) 実習　第2組　1月22日(月)～23日(火)	9:00～17:45
		大阪 ＊(探傷器 G)	64名 （各組32名）	講義　12月19日(火)～21日(木) 実習　第1組　12月22日(金)～23日(土) 実習　第2組　12月24日(日)～25日(月)	

超音波探傷器Gタイプ、Rタイプは、半期ごとに東京と大阪で交互に入れ替わります。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h) 講義	訓練時間(h) 実習	合計訓練時間
序論	NDT の目的、用語、歴史	1.00		40時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場，きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	2.00		
	波の種類			
	反射，通過と屈折			
	超音波ビームの特性			
	きずによる超音波の反射			
製品知識と探傷技術	超音波探傷方法	5.00		
	製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず			
	対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	4.00	1.00	
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	仕様書，NDT 手順及び NDT 指示書	3.00		
	試験体のきずの発生予測			
	探傷条件選定			
	適用される検査規格			
検査	探傷器の調整	6.00	5.00	
	標準試験片と対比試験片			
	直接接触法(垂直及び斜角)			
	水浸法(垂直)			
	測定範囲の調整及び感度の調整			
	きずの検出と測定			
評価及び報告	きずの評価･分類	2.00	10.00	
	きずと疑似指示の区別			
	超音波指示の解釈と評価			
検査の品質	技術者の資格	1.00		
	機器の検証			
	計	24.00	16.00	

当協会の UT レベル2コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。不足時間は 40 時間ですので、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着･安全靴(スニーカータイプ可)は必要に応じ各自でご用意下さい。ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。また、超音波探傷器操作上、パットが損傷する恐れがありますので、長い爪での受講はご遠慮下さい。＊　探傷器タイプ　　Gタイプ、Rタイプの詳細はHPを参照して下さい。

注）超音波探傷試験レベル2講習会を受講される方は、超音波探傷試験レベル1の資格を所有された方か、超音波探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させて頂きますようお願い致します。レベル2の講習会受講に際し、最低限必要な操作項目を以下に示します。

レベル2コース受講に必要な操作項目

〔垂直探傷〕　①測定範囲の調整　②感度の調整　③ きずの位置測定

〔斜角探傷〕　①入射点の測定　②定範囲の調整　③屈折角の測定　④反射源の位置測定　⑤エコー高さ区分線の作成

UT レベル3コース　　会　員　64,152 円　　非会員　71,280 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
超音波探傷試験レベル3 （講義4日間コース）	UT30	東京	30名	講義　　12月16日(土)～19日(火)	9:00～17:45
		大阪	―	秋期開催なし(春期 6 月～7 月開催予定)	

超音波探傷試験レベル3コースは、半期ごとに東京と大阪で交互に開催致します。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	NDT の目的、用語、歴史	2.00		32時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場, きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	6.00		
	波の種類			
	反射, 通過と屈折			
	超音波ビームの特性			
	きずによる超音波の反射			
製品知識と探傷技術	超音波探傷方法	3.00		
	製造プロセス及び供用中に発生する 様々なきず			
	対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	4.00		
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	仕様書, NDT 手順及び NDT 指示書	6.00		
	検査対象と技術パラメータの選択			
	測定すべき項目			
	適用される検査規格			
検査	技術文章の管理	3.00		
	標準試験片と対比試験片			
評価及び報告	補足的 NDT 手法の使用	4.00		
	適切な標準と規格の解釈			
	評価			
	合否基準			
	有意な差異のレベル			
	保守検査の評価			
	データの保存と記録の手順			
検査の品質	技術者の資格	2.00		
	機器の検証			
	文書のトレーサビリティ			
	適用可能な NDT 方法と製品規格のレビュー			
	他の NDT 資格及び認証システム			
技術開発及び情報入手	工業的、科学的な超音波の応用に関する 最新の開発	2.00		
	情報入手方法			
	計	32.00	0.00	

当協会の UT レベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間はレベル 3 基礎コース 8 時間と、UT レベル 3 コースの8時間ですので、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

MT レベル 1 コース　会　員　30,132 円　　非会員　33,480 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
磁気探傷試験レベル1 （講義・実習2日間コース）	MT10	東京	64名 （各組32名）	講義　1月　7日（日） 実習　第1組　1月　8日（月） 実習　予備日　1月　9日（火）	9:00～17:45
		大阪	64名 （各組32名）	講義　1月18日（木） 実習　第1組　1月19日（金） 実習　予備日　1月20日（土）	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間（h）		合計訓練時間
		講義	実習	
はじめに	NDT一般	0.50		16時間
電磁気の基礎	磁気の基礎法則	3.00		
	電流による磁界			
	磁性体と磁化			
	交流による磁化			
	反磁界			
	磁気回路と漏洩磁束			
製品の知識	製造及び供用中に発生するきず	0.50		
装置及び器材	磁化装置	0.50	1.50	
	器材			
試験前情報	探傷試験の準備	0.50	1.50	
探傷試験	指示書による試験	1.50	4.00	
	製品の探傷試験			
評価及び報告	報告	0.50	1.00	
品質アスペクト	技術者の資格	0.50		
環境及び安全	健康と安全衛生	0.50		
	計	8.00	8.00	

当協会の MT レベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。
備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。
注）限定NDT方法のMC・ME・MYレベル1を受験される方は、このコースを受講して下さい。

MT レベル 2 コース　会　員　40,824 円　　非会員　45,360 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
注） 磁気探傷試験レベル2 （講義・実習3日間コース）	MT20	東京	64名 （各組32名）	講義　1月10日（水）～11日（木） 実習　第1組　1月12日（金） 実習　予備日　1月13日（土）	9:00～17:45
		大阪	64名 （各組32名）	講義　1月21日（日）～22日（月） 実習　第1組　1月23日（火） 実習　予備日　1月24日（水）	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間（h）		合計訓練時間
		講義	実習	
はじめに	NDT一般	0.50		24時間
電磁気の基礎	磁気の基礎法則	4.00		
	電流による磁界			
	磁性体と磁化			
	交流による磁化			
	反磁界			
	磁気回路と漏洩磁束			
	磁気測定			
製品の知識及び試験パラメータ	製造及び供用中に発生するきず	4.00		
	試験パラメータ			
装置及び器材	磁化装置	0.75	1.00	
	器材			
	装置の管理			
試験前情報	探傷試験の準備	0.75	1.00	
探傷試験	探傷手順	2.00	3.00	
	製品の探傷試験			
	保守検査			
評価及び報告	試験報告書	2.00	2.00	
評価	きずの評価	0.50	0.50	
品質アスペクト	NDTにおける品質管理	0.50	0.50	
環境及び安全	健康と安全衛生	0.50		
開発	開発	0.50		
	計	16.00	8.00	

当協会の MT レベル 2 コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。

注）限定NDT方法の極間法レベル2を受験される方は、当協会の MT レベル 2 講習会を受講しただけでは要求項目を満たしておらず、MY レベル1の8時間分不足しておりますので、MT レベル1講習会を受講し、不足項目分の8時間として下さい。磁粉探傷試験レベル2講習会を受講される方は、磁粉探傷試験レベル1の資格を所有された方か、磁粉探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、受講前までに以下の基本操作を十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことを十分に確認の上、講習会に参加して頂きますようお願い致します。

＊レベル2コース受講に必要な基本操作項目

〔極間法による磁粉探傷試験〕　①検査液の適用方法（オイラー使用）　②A形標準試験片の取扱い　③探傷有効範囲の測定
　④溶接試験片などによる探傷操作　⑤きず磁粉模様の判別

MT レベル 3 コース　会　員　48,600 円　非会員　54,000 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
磁気探傷試験レベル3 （講義･実習3日間コース）	MT30	東京	30名	講義　1月27日(土)～29日(月) 実習　1月29日(月)※	9:00～17:45
		大阪	-	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		訓練時間
		講義	実習	
はじめに	NDT一般	1.00		24時間
電磁気の基礎	磁気の基礎法則	4.00		
	電流による磁界			
	磁性体と磁化			
	磁気回路と漏洩磁束			
	磁気測定			
製品の知識及び試験パラメータ	製造及び供用中に発生するきず	1.00	1.00	
	試験パラメータ			
装置及び器材	磁化装置	1.00	0.50	
	装置の管理			
試験前情報	試験前情報	2.00	0.50	
探傷試験	磁化方法	3.00	2.00	
	装置の選択			
	製品の探傷試験			
	保守検査			
評価及び報告	試験報告書	3.00		
評価	評価	2.00		
品質アスペクト	NDTにおける品質管理	2.00		
環境及び安全	健康と安全衛生	0.50		
開発	開発	0.50		
	計	20.00	4.00	

当協会の MT レベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間はレベル3基礎コース 8 時間ですので、当協会のレベル 3 基礎コースを受講するか、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

※実習は午後から行っております。

PT レベル1コース　　会　員　31,104 円　　非会員　34,560 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
浸透探傷試験レベル1 （講義・実習2日間コース）	PT10	東京	144名 （各組48名）	講義　1月 8日(月) 実習 第1組　1月 9日(火) 実習 第2組　1月10日(水) 実習 第3組　1月11日(木)	9:00～17:45
		大阪	144名 （各組48名）	講義　12月 1日(金) 実習 第1組　12月 2日(土) 実習 第2組　12月 3日(日) 実習 第3組　12月 4日(月)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	非破壊検査一般	0.50		16時間
試験方法の原理と関連知識	基礎知識	1.00		
	試験方法の種類			
製品知識及び製法と その技術の能力	探傷の実際(製法と発生きず)	0.50	0.50	
装置	装置及び器具の構成と取扱	1.00	1.00	
	対比試験片			
試験実施前の情報	試験体の確認	0.50	0.50	
	試験条件			
	観察条件(JIS Z 2323)			
探傷試験	試験方法の確認	2.50	4.00	
	前処理			
	浸透処理			
	乳化処理			
	洗浄処理			
	除去処理			
	現像処理			
	乾燥処理			
	観　察			
	再試験			
	後処理			
評価と報告	試験報告	0.50	0.50	
	記録			
	指示模様の解釈			
	評価			
きずの影響	きずの評価(製造と材料の影響)	0.50	0.50	
品質管理	管理すべき事項	0.50	0.50	
環境と安全	安全衛生(安全データシート)	0.50	0.50	
	探傷剤			
	計	8.00	8.00	

当協会の PT レベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴(スニーカータイプ可)は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。 鉛筆、赤青色鉛筆をご持参下さい。

注)限定NDT方法のPW・PDレベル1の講習会は開催しておりません。PW・PDレベル1の受験を希望される方には、こちらのPTレベル1コースを受講していただいております。

PT レベル2コース　　会　員　48,600 円　　非会員　54,000 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
浸透探傷試験レベル2 （講義･実習3日間コース）	PT20	東京	144 名 （各組48名）	講義　1月12日(金)～13日(土) 実習　第1組　1月14日(日) 実習　第2組　1月15日(月) 実習　第3組　1月16日(火)	9:00～17:45
		大阪	144名 （各組48名）	講義　12月　5日(火)～　6日(水) 実習　第1組　12月　7日(木) 実習　第2組　12月　8日(金) 実習　第3組　12月　9日(土)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	非破壊検査一般	1.00		24時間
試験方法の原理と関連知識	界面化学	3.00		
	視知覚			
	浸透探傷剤の特性			
製品知識及び製法と その技術の能力	適用範囲と操作手順	2.00	0.50	
	探傷の実際(製法と発生きず)			
装置	装置及び器具の構成と取扱	2.00	1.00	
	対比試験片			
試験実施前の情報	試験体に関する情報	1.00	0.50	
	試験条件			
	観察条件(JIS Z 2323)			
探傷試験	試験方法の選定	3.00	4.00	
	前処理			
	浸透処理			
	乳化処理			
	洗浄処理			
	除去処理			
	現像処理			
	乾燥処理			
	再試験			
	後処理			
評価と報告	評価の基本	1.00	0.50	
	指示模様の解釈			
	評価			
	報告			
きずの影響	きずの評価(製造と材料の影響)	1.00	0.50	
品質管理	管理すべき事項	1.00	0.50	
環境と安全	安全衛生(安全データシート)	0.50	0.50	
	探傷剤			
技術開発		0.50		
	計	16.00	8.00	

当協会の PT レベル 2 コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。
備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着･安全靴(スニーカータイプ可)は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。 鉛筆、赤青色鉛筆をご持参下さい。

注)限定NDT方法の溶剤除去性浸透探傷検査レベル2(PD2)を受験される方は、当協会の PT レベル 2 講習会を受講しただけでは要求項目を満たしておらず、PD レベル1の8時間分不足しておりますので、PT レベル1講習会を受講し、不足項目分の8時間として下さい。

PT レベル3コース　　会　員　48,600 円　　非会員　54,000 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
浸透探傷試験レベル3 （講義・実習3日間コース）	PT30	東京	30名	講義　1月26日（金）～28日（日） 実習　1月28日（日）※	9:00～17:45
		大阪	-	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練記録（h）		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	非破壊検査一般	0.50		24時間
試験方法の原理と関連知識	界面化学	3.50	2.50	
	視知覚			
	探傷剤の性能			
製品知識及び製法と その技術の能力	適用範囲と操作手順	2.50		
	探傷の実際（製法と発生きず）			
装置	装置及び器具の構成と取扱 （JIS Z 2343-4）	2.50		
	対比試験片（JIS Z 2343-3）			
試験実施前の情報	試験体に関する情報	1.50	0.50	
	試験条件			
	観察条件（JIS Z 2323）			
探傷試験	試験の準備	3.00	0.50	
評価と報告	評価の基本	1.50	0.50	
	指示模様の解釈			
	評価			
	報告			
きずの影響	きずの評価（製造と材料の影響）	2.50		
品質管理	管理すべき事項	1.00	0.50	
環境と安全	安全衛生（安全データシート）	0.50		
	探傷剤			
技術開発	独創的、革新的な特別の処置	0.50		
	計	19.50	4.50	

当協会の PT レベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間はレベル 3 基礎コース 8 時間ですので、当協会のレベル 3 基礎コースを受講するか、シラバスに沿って他機関、もしくは自社訓練にて追加訓練を行って下さい。

※実習は午後から行っております。

ETレベル1コース　　会　員　67,068 円　　非会員　74,520 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
渦電流探傷試験レベル1 （講義・実習5日間コース）	ET10	東京	24名	講義　1月18日(木)～21日(日) 実習　1月21日(日)※～22日(月)	9:00～17:45
		大阪	24名	講義　12月23日(土)～26日(火) 実習　12月26日(火)※～27日(水)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練記録(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
はじめに	渦電流探傷の概要	2.00		40時間
渦電流探傷試験の基礎	電気と磁気の基礎	9.00	3.00	
	金属の電磁気的性質			
	渦電流試験の基礎			
電磁誘導試験の適用	試験コイルの種類	2.50	2.00	
	試験コイルの分類			
	適用対象			
	その他の試験コイル			
探傷システム	装置構成	2.50	2.00	
	機能と信号			
	装置の調整			
	付属装置			
製品の知識	製品情報	1.00	1.00	
	検査範囲			
対比試験片	対比試験片の目的	1.00	1.00	
	対比試験片の要件			
探傷試験の実際	上置プローブ	3.00	6.00	
	貫通プローブ			
	内挿プローブ			
報告	各種文書	2.00	1.00	
品質アスペクト	規格の種類	1.00		
	計	24.00	16.00	

当協会のETレベル1コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

※実習は午後から行います。

ETレベル2コース　　会　員　81,648 円　　非会員　90,720 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
渦電流探傷試験レベル2 （講義・実習6日間コース）	ET20	東京	24名	講義　1月23日(火)～26日(金) 実習　1月27日(土)～28日(日)	9:00～17:45
		大阪	24名	講義　1月13日(土)～16(火) 実習　1月17日(水)～18(木)	

訓練内容	訓練内容題目	訓練記録(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
はじめに	渦電流探傷の概要	2.00		48時間
渦電流探傷試験の基礎	電気回路	6.00	3.00	
	電磁誘導			
	金属の電磁気的性質			
電磁誘導試験の適用	試験コイルの分類	3.00	1.00	
	コイルのインピーダンス			
	適用対象			
	その他の試験コイル			
探傷システム	装置構成	3.00	1.00	
	機能と信号			
	渦電流探傷装置の種類			
	付属装置			
製品の知識	製品情報	2.00	1.00	
	検査範囲			
対比試験片	使用目的	2.00	1.00	
	使用方法			
探傷試験の実際	試験方法	6.00	10.00	
	製品の探傷			
	その他の試験方法			
評価	合否基準	2.00	1.00	
報告	各種文書	1.00	1.00	
品質アスペクト	技術者の資格	2.00		
	規格の種類			
	計	29.00	19.00	

当協会のETレベル2コースで、認証試験で要求されている訓練時間を満たしております。

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
　　ただし　更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

ETレベル3コース　　会　員　67,068 円　　非会員　74,520 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
渦電流探傷試験レベル3 （講義･実習5日間コース）	ET30	東京	－	秋期開催なし（春期6月～7月開催予定）	9:00～17:45
		大阪	－	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練記録(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
はじめに	渦電流探傷試験について	2.50		40時間
渦電流探傷試験の基礎	電磁気の基本法則	5.50		
	電磁界解析			
	金属の電磁気的性質			
試験コイルとインピーダンス	試験コイル	3.50		
	インピーダンスと影響因子			
	適用対象			
	その他の試験コイル			
探傷システム	装置構成	4.50		
	機能と信号			
	渦電流探傷装置の種類			
	付属装置			
対比試験片	使用目的	2.00		
	使用方法			
製品の知識	製品情報	1.00		
	検査範囲			
	他の NDT			
探傷試験の実際	試験方法	5.00	8.00	
	製品の探傷			
	その他の試験方法			
評価	合否基準	0.50	1.50	
報告	各種文書	1.00	1.50	
品質アスペクト	規格の種類	1.50	1.00	
開発	新しい探傷方法	1.00		
	その他			
	計	28.00	12.00	

ST レベル1コース　　会　員　30,132 円　　非会員　33,480 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
ひずみゲージ試験レベル 1 （講義･実習 2 日間コース）	ST10	東京	24名	講義　1月14日(日) 実習　1月15日(月)	9:00～17:45
		大阪	―	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の目的、概要、専門用語	非破壊試験一般	1.00		16時間
試験方法の物理的な原理と関連知識	応力とひずみの基礎	3.50		
	電気回路の基礎			
	ひずみゲージの基礎			
試験対象に関する知識と材料強度	試験対象に関する知識	1.00		
装置と変換器	ひずみ測定器	2.00		
試験実施前の準備	ひずみ測定前の準備	1.50	2.00	
試験	測定の実施	0.50	2.00	
評価と報告	結果の記録と報告	1.00	1.00	
安全性の評価				
品質アスペクト	作業の理解	0.25		
環境および安全条件	安全と衛生	0.25		
	計	11.00	5.00	

ST レベル 2 コース　　会　員　40,824 円　　非会員　45,360 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
ひずみゲージ試験レベル 2 （講義･実習3日間コース）	ST20	東京	24名	講義　1月16日(火)～17日(水) 実習　1月18日(木)	9:00～17:45
		大阪	―	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の目的、概要、専門用語	非破壊試験一般	0.50		24時間
試験方法の物理的な原理と関連知識	応力とひずみ	6.50		
	ひずみ測定回路			
	ひずみゲージ			
試験対象に関する知識と材料強度	構造における応力とひずみ	1.50		
装置と変換器	ひずみ測定器	2.00		
	ひずみゲージ式変換器			
試験実施前の準備	ひずみゲージ試験実施前の注意事項	1.50	2.00	
試験	測定の実施	1.00	2.00	
評価と報告	結果の評価と報告	1.00	3.00	
安全性の評価	測定データの評価	0.50	1.00	
品質アスペクト	作業の理解	1.00		
環境および安全条件	環境と安全	0.50		
	計	16.00	8.00	

ST レベル3コース　　会　員　48,600 円　　非会員　54,000 円（消費税込）

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
ひずみゲージ試験レベル3（講義3日間コース）	ST30	東京	―	講義　　1月20日(土)～22日(月)	注)以下参照
		大阪	―	大阪開催なし	

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
NDT の目的、概要、専門用語	非破壊試験一般	0.50		20時間
試験方法の物理的な原理と関連知識	応力とひずみ	6.00		
	ひずみゲージ試験			
	ひずみゲージ法以外の応力ひずみ測定			
試験対象に関する知識と材料強度	構造における応力とひずみ	2.50		
	材料強度の知識			
装置と変換器	ひずみ測定器	3.00		
	ひずみゲージ式変換器			
試験実施前の準備	ひずみゲージ試験実施前の注意事項	1.00		
試験	測定の実施	3.00		
評価と報告	結果の評価と報告	1.00		
安全性の評価	被測定物の評価	1.00		
品質アスペクト	作業の選定	1.00		
環境および安全条件	環境と安全	1.00		
	計	20.00		

注）1日目　09:30～17:45
　　2日目　09:00～17:45
　　3日目　09:00～14:15

技 術 講 習 会 書 籍 一 覧

全ＮＤＴ共通レベル３（基礎コース）

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ3
共通他	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628	○
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338	○
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675	○
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	Ｌ3問15	300237	1,749	1,645	○
	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	○

放射線検査関連書籍

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675			
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	Ｌ3問15	300237	1,749	1,645			
放射線関係	放射線透過試験Ⅰ	2006	放　Ⅰ	311116	2,366	2,160	○	○	
	放射線透過試験Ⅱ	2006	放　Ⅱ	311120	3,600	3,291		○	
	放射線透過試験Ⅲ	2016	放　Ⅲ	311130	5,184	4,752			○
	放射線透過試験Ⅰ問題集	2017	放Ⅰ問	310217	2,592	2,332	○	△	
	放射線透過試験Ⅱ問題集	2017	放Ⅱ問	310227	3,348	3,013		○	△
	放射線透過試験Ⅲ問題集	2017	放Ⅲ問	310237	2,700	2,430			○
	放射線透過試験実験法	1987	放　実	311308	1,749	1,645	△	○	
	放射線透過試験技術に関する写真及び解説	2006	放　写	310446	4,526	4,114	○	○	○
	中性子ラジオグラフィ写真集	1995	中ラ写	311466	4,731	4,320	△	△	
	放射線の安全取扱い	2009	放　安	311317	3,291	2,982	△	△	
	鋳鋼品放射線透過写真きずの像の分類用ゲージ	－	鋳放ゲ	120581	1,286	1,183	○	○	
	鋼溶接継手放射線透過写真きずの像の分類用ゲージ	－	鋼放ゲ	123104	822	772	○	○	
	アルミニウム溶接継手放射線・きずの像の分類用ゲージ	－	ア放ゲ	123105	822	772	○	○	
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675		○	
	工業分野におけるﾃﾞｼﾞﾀﾙﾗｼﾞｵｸﾞﾗﾌｨの基礎とその適用	2014	工業DR	611135	3,900	3,700	△	○	○
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△

超音波検査関連書籍

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3	UM厚さ
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628				
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		△		
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675				
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	Ｌ3問15	300237	1,749	1,645				
超音波関係	超音波探傷試験Ⅰ	2017	超　Ⅰ	320117	2,484	2,235	○	△		
	超音波探傷試験Ⅱ	2000	超　Ⅱ	321121	4,731	4,320		○		
	超音波探傷試験Ⅲ	2017	超　Ⅲ	320137	8,208	7,387			○	
	超音波厚さ測定Ⅰ	2009	超厚Ⅰ	322116	3,086	2,777	○	△		○
	超音波厚さ測定Ⅰ問題集	2017	超厚問	320217	1,404	1,263	○			○
	超音波探傷試験問題集　※	2002	超　問	321205	5,760	5,246		○	○	
	超音波探傷試験Ⅰ問題集	2017	超Ⅰ問	321217	2,592	2,332	○			
	超音波探傷試験実技参考書「デジタル超音波探傷器」編	2009	超実デ	321308	5,658	5,142	○	○		
	各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験	2004	各　超	321570	5,965	5,451		○	○	
	鉄骨溶接部の超音波探傷試験実施マニュアル	1999	鉄超マ	321589	4,114	3,703		△		
	超音波探傷入門（パソコンによる実技演習） ＤＬ版「デジタル超音波探傷器」編	2013	超入デ	321563	5,142	4,628	△	△		△
他	JIS Z 2305 :2013　非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△		△
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675			△	
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△	

※超音波探傷試験ﾚﾍﾞﾙ2,3 の方は、「超音波探傷試験問題集2002 年版」をご使用下さい。

磁気検査関連書

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		○	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675			
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	L3問15	300237	1.749	1,645			
磁粉関係	磁粉探傷試験Ⅰ	2007	磁　Ⅰ	331118	2,057	1,852	○	○	
	磁粉探傷試験Ⅱ	2007	磁　Ⅱ	331128	3,498	3,189		○	
	磁粉探傷試験Ⅲ	2009	磁　Ⅲ	331138	3,703	3,394			○
	磁粉探傷試験問題集	2009	磁　問	331203	4,114	3,703	○	○	○
	磁粉探傷試験実技参考書	2012	磁　実	331310	4,114	3,703	○	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,777	2,571	△	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675			△
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△

浸透検査関連書籍

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		○	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675			
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
浸透関係	浸透探傷試験Ⅰ	2004	浸　Ⅰ	332116	2,880	2,675	○	○	
	浸透探傷試験Ⅱ	2005	浸　Ⅱ	332128	3,703	3,394		○	
	浸透探傷試験Ⅲ	2008	浸　Ⅲ	332136	2,160	1,954			○
	浸透探傷試験問題集	2010	浸　問	332202	5,451	4,937	○	○	○
	浸透探傷試験実技参考書	2015	浸　実	332310	2,592	2,376	○	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,777	2,571	△	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675			△
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△

渦電流検査関連書籍

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675			
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
渦流関係	渦電流探傷試験Ⅰ	2008	渦　Ⅰ	333116	2,880	2,675	○	△	
	渦電流探傷試験Ⅱ	2016	渦　Ⅱ	333126	5,400	4,860		○	
	渦電流探傷試験Ⅲ	2003	渦　Ⅲ	333131	6,377	5,760			○
	渦電流探傷試験問題集	2002	渦　問	333202	4,012	3,703	○	○	○
	渦電流探傷試験実技参考書	2008	渦　実	333310	3,600	3,291	○	○	
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675			△
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△

ひずみゲージ関連書籍

使用書籍：○　参考書籍：△　（消費税込価格）

	書　籍　名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	ﾚﾍﾞﾙ1	ﾚﾍﾞﾙ2	ﾚﾍﾞﾙ3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総　論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金　入	301138	1,440	1,338		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金　概	301107	2,880	2,675			
	ﾚﾍﾞﾙ３技術者のための材料科学及び認証ｼｽﾃﾑに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
ひずみ関係	ひずみゲージ試験Ⅰ	2017	ひ　Ⅰ	11月下旬発売予定			○	○	
	ひずみゲージ試験Ⅱ	2017	ひ　Ⅱ	11月下旬発売予定				○	
	ひずみゲージ試験Ⅲ	2017	ひ　Ⅲ	11月下旬発売予定					○
	ひずみ測定問題集	2009	ひ　問	341204	4,835	4,423	○	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非　ガ	600562	2,916	2,675			△
	JISハンドブック「非破壊検査」2017	2017	非　ハ	600018	12,312	10,260		△	△

注意：赤字の書籍は2017年改訂版です。すでに書籍をお持ちの方は、年版をご確認下さい。

【梱包発送費】書籍・分類用ゲージの数量により下記のようになります（梱包発送費内に消費税は含まれております）

① 書籍・JIS　１冊の場合　３７０円
　２冊以上の場合　（冊数×１２０円）＋３２０円
　同一書籍３０冊以上の場合　当該書籍のみ無料

② 分類用ゲージ　1～ 4枚・・150円／ 5～13枚・・210円／14～29枚・・290円／
　30～49枚・・410円／50枚～・・720円

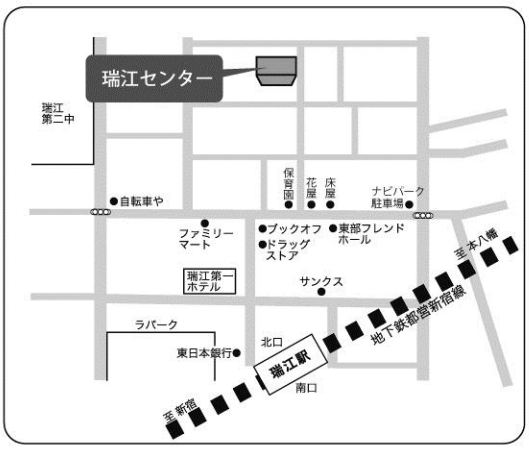
【割　　引】同一書籍１０冊以上まとめてご注文の場合　（定価又は会員価格）×冊数×０．９
同一書籍３０冊以上まとめてご注文の場合　定価×冊数×０．８
＊分類用ゲージは枚数による割引はありません

講習会会場案内

地　区	会　　場
東京	一般社団法人　日本非破壊検査協会　亀戸センター 〒136-0071　東京都江東区亀戸2－25－14　立花アネックスビル
	一般社団法人　日本非破壊検査協会　瑞江センター 〒132-0011　東京都江戸川区瑞江2－11－9
大阪	一般財団法人　電子科学研究所　会議室 〒541-0057　大阪府大阪市中央区北久宝寺町2－3－6　非破壊検査ビル
	一般社団法人　日本非破壊検査協会　堺筋センター 〒541-0059　大阪府大阪市中央区博労町2－2－13　大阪堺筋ビル
＊会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時には必ずご確認下さい。	

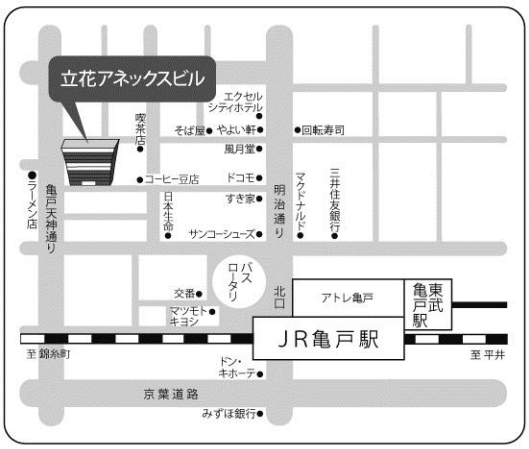
一般社団法人 日本非破壊検査協会
瑞江センター

都営新宿線「瑞江駅」下車、北口より徒歩 約３分



一般社団法人 日本非破壊検査協会
亀戸センター　立花アネックスビル

JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、北口より徒歩 約５分



一般財団法人 電子科学研究所
非破壊検査ビル

堺筋線・中央線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約５分、
御堂筋線「本町駅」下車、徒歩 約10分

一般社団法人 日本非破壊検査協会
堺筋センター　大阪堺筋ビル

中央線・堺筋線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約５分